

『Lines of Sight ～それぞれのアジアへの視線～』

● PFWトップページ ● NPIトップページ

Title: 「青の時間 (TIME×BLUE)」



坂本 晶子  
有り難さを忘れない。  
「有る」こと  
のむずかしさを知  
っていたい。漫画とダ  
ンスの畠出身のフォ  
トフィールドワー  
カー。カメラとビデオ  
とスケッチブックを  
友に、アジアの空間  
と対峙する。

## ● 最近のエントリー

- ジョードプルの城壁と街  
(2006.06.22)
- 街を歩けば  
(2006.06.22)
- 街の色  
(2006.06.22)
- 青い都市  
(2006.06.22)

## ● アーカイブ

- 2006年09月
- 2006年08月
- 2006年07月
- 2006年06月
- 2006年05月
- 2006年04月
- 2006年03月

## ● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

**OLYMPUS**

Your Vision, Our Future

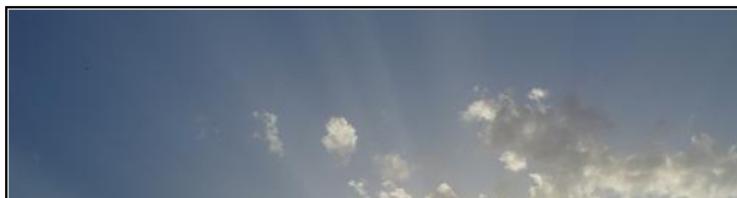
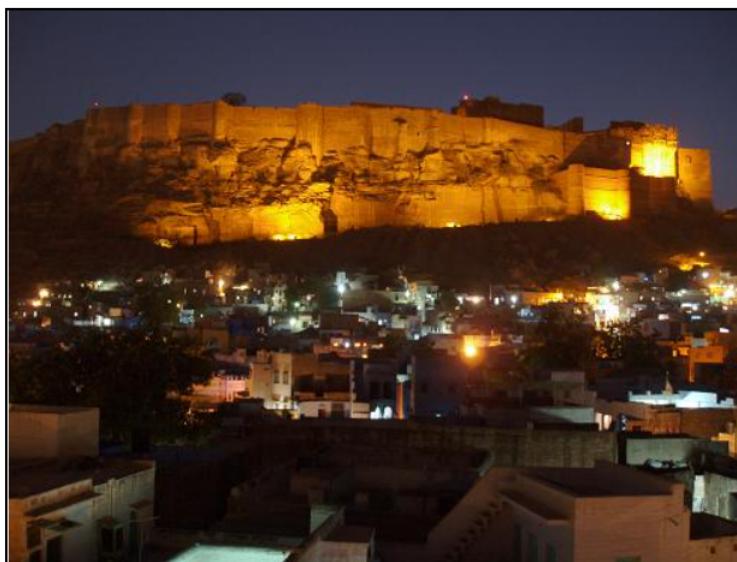
[RSS 2.0](#)

06.06.22

## ジョードプルの城壁と街



fort2.JPG



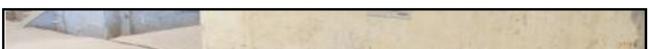


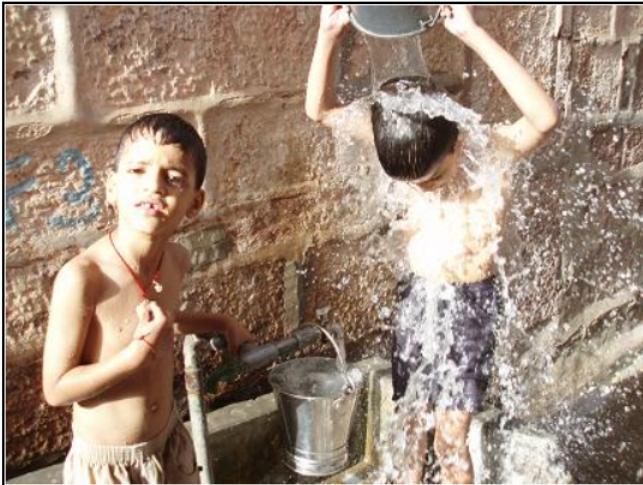
カテゴリ：

post by 坂本 晶子 | 日時: 2006.06.22 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

青の時間 (TIME×BLUE) > 2006年06月 アーカイブ

## 街を歩けば







カテゴリ:

post by 坂本 晶子 | 日時: 2006.06.22 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[青の時間 \(TIME×BLUE\)](#) > 2006年06月 アーカイブ

## 街の色





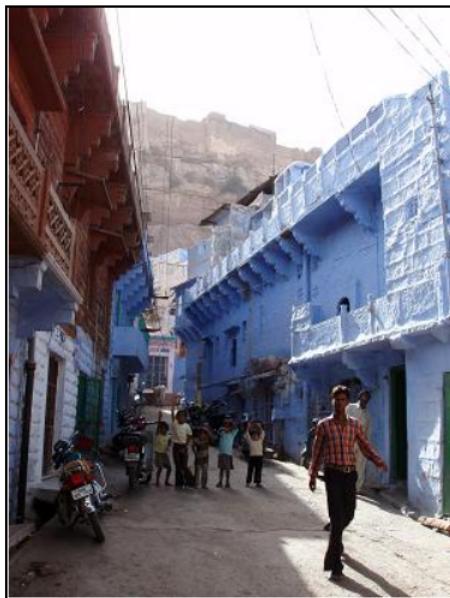
カテゴリ:

post by 坂本 晶子 | 日時: 2006.06.22 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) |  [トラックバック\(0\)](#)

[青の時間 \(TIME×BLUE\) > 2006年06月 アーカイブ](#)

## 青い都市





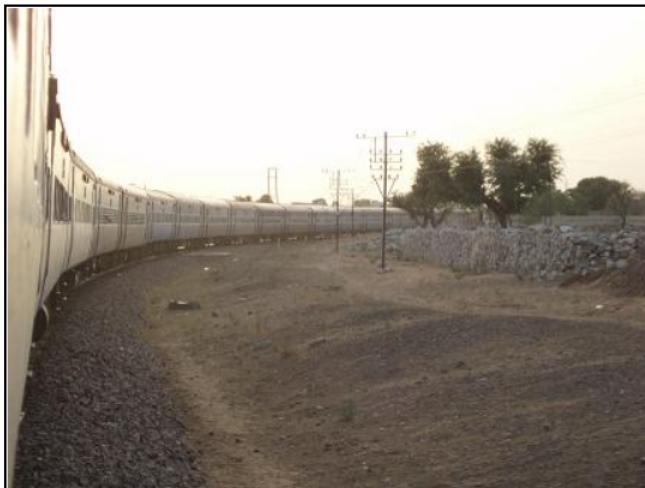


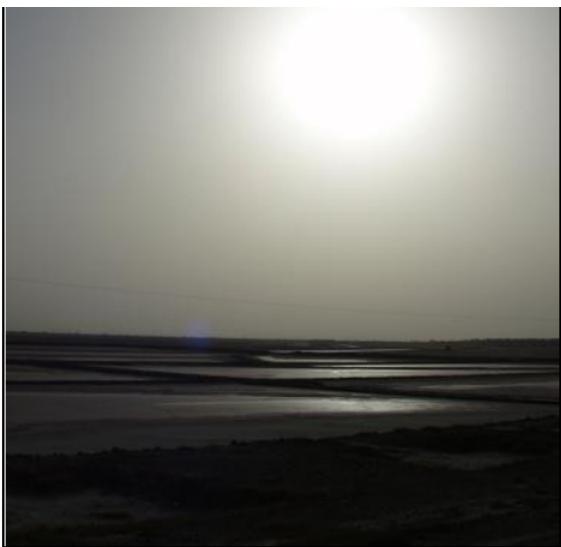
カテゴリ：

post by 坂本 晶子 | 日時: 2006.06.22 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

青の時間 (TIME×BLUE) > 2006年06月 アーカイブ

## 次へ進む道





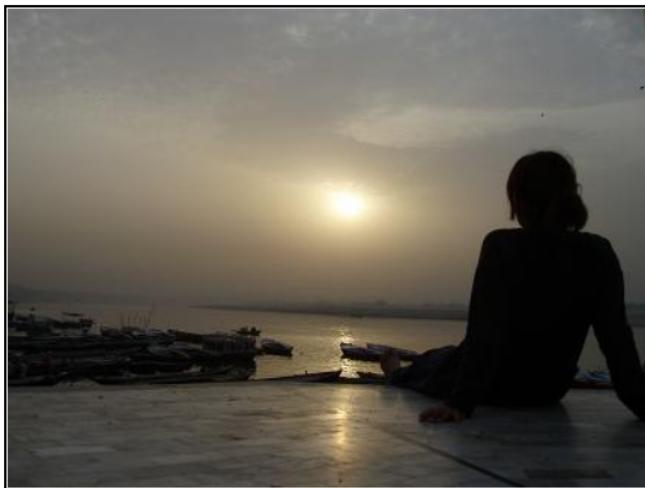
カテゴリ:

net hu 暑木 晴子 | 日記 | 2006.06.22 | バーマルク | マラカンド | ドラムクバムク

青の時間 (TIME×BLUE) > 2006年06月 アーカイブ

06.06.16

## 深い河の朝



パナシ最後の朝

いつものように朝5時からボケボケと河を眺める  
最初は嫌になりそうだったパナシも今は好きになれそう  
そんな気がする...  
次はショードブル  
どんな街かな

カテゴリ:

post by 坂本 晶子 | 日時: 2006.06.16 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

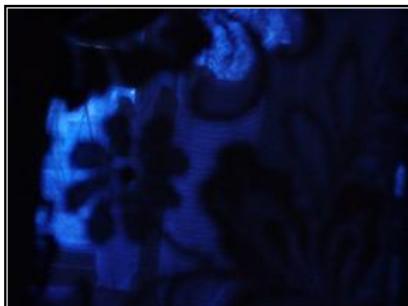
青の時間 (TIME×BLUE) > 2006年06月 アーカイブ

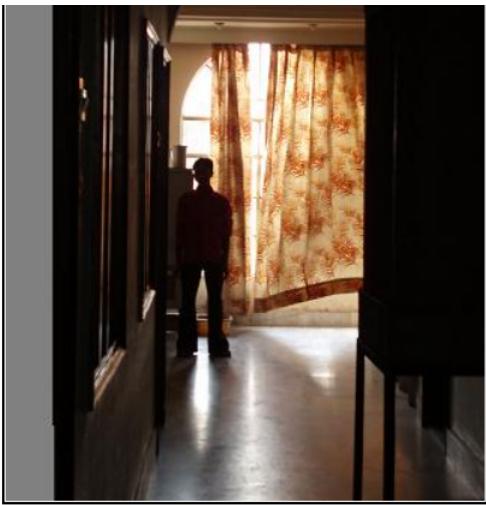
## パナシの部屋より

エアコンの効いた暗い部屋でゴロゴロ  
マンゴーを剥いて  
サイダーを飲んで  
何しようかな



近所のネットカフェで画像を取り込みながら、パナシの暑さに悶える  
そんな空間で日本語をはじく  
なんてアンニュイなんだろう





音のない部屋でゴロゴロ  
暗い部屋でゴロゴロ

カテゴリ：

post by 坂本 晶子 | 日時: 2006.06.16 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) |  [トラックバック\(0\)](#)

[青の時間 \(TIME×BLUE\) > 2006年06月 アーカイブ](#)

06.06.14

## INDIA9



カテゴリ：

post by 坂本 晶子 | 日時: 2006.06.14 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) |  [トラックバック\(0\)](#)

days×days





カテゴリ:

post by 坂本 晶子 | 日時: 2006.06.14 | [パー・マリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[青の時間 \(TIME×BLUE\)](#) > 2006年06月 アーカイブ

## 【 サリーのみちを行く 】

パナラシ2日目、6月11日。

ウ\* シュワナーントラベルをぶらぶら歩いていると結婚式に出くわした。

カンボジアでもちらっと出くわしたが、インドで結婚式を見ることをとても望んでいたので、とても運がよかった。

親類、縁者の袖あたりでマジマジと見ていたからか、はたまた外国人だったからか、新郎がリキシャーの上から手招きしてきた。

自分のことを呼んでいるのか、それとも何なのかと...と戸惑っていると

「家まで来ないかい？」

と説かれててしまった。



細い小路にサリーのような長い布をひき、新郎新婦はその上を歩きながら家へと進む。新婦の父親や姉妹らしき人たちと歌を交しながら





新郎のシヴァ氏、新婦のアニータさん、お幸せに..。

カテゴリ：

post by 坂本 晶子 | 日時: 2006.06.14 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) |  [トラックバック\(0\)](#)

[青の時間 \(TIME×BLUE\)](#) > 2006年06月 アーカイブ

## ■ プジャーな夜





カテゴリ:

post by 坂本 晶子 | 日時: 2006.06.14 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) |  [トラックバック\(0\)](#)

[青の時間 \(TIME×BLUE\)](#) > 2006年06月 アーカイブ

## コルカタに思いを残す

コルカタではインド人のお家に泊まってます。  
いわゆるホームステーです。  
毎朝毎晩カレーで、日本の"おかず"のような感じで何品かの種類がライスと一緒に食卓  
にのぼる。  
ホスピタリティがとても高く、おもてなしの心が伝わってきます。

おひさし、おひさしでまたまたへんこでひんぱんのうつむきにかまくらがまくらとく

べたら....

(>。<) 唐辛子カリーでした。

とても甘く、美味しいから食べ終わるまで全然気付かず、その後涙ボロボロ、身体ヒーヒーでもう大変。

水を飲んでどうなるかということでもなく、慌てたお母さんが

「Akiko これ全部食べて」

山盛りの砂糖と塩が目の前に...。

砂糖、塩、水、ピスケット、ミルクティー、マンゴー

あらゆるもの食べながら、40分後やっと落ち着いた次第。

お母さんが申しわけなさそうに

「ごめんね、気が付かなくて....。」

いやいや、自分の方こそ気を配らなくてはいけない盲点でした。



次の朝、目玉焼きとトーストが出てきた。

お母さん、ごめんね。

気を使ってくれてありがとう。



インドでメヘディーと結婚式だけは見逃せないっていう話をしたら、近所のデザイナーさんにメヘディーをしてもらうことに。

メヘディーとはヘンナの葉を乾燥させて粉末を水に溶いて手足に模様を描くもので、日本では知人がよく手足にデザインを描いてくれていたので、本場インドで絶対にやりたいと思っていたから、ドキドキドキドキ。

おじゅました家には大きい黒のレトリバーが居たり（ジョディーくん）、絵を描いてる時もデザイナーさんやその家族（姉妹やおばあちゃん、旦那さん）と今の旅やこれからインドの旅の不安などについて話をしながら2時間が過ぎていった..・。

ホームメードのマンゴージュース、美味しいかったっす！！



ステー先の町中をぐるぐると歩く。

外国人はほとんど訪れない地区だからか、人の視線をとても感じるし、撮影で立ち止まるなどたちまち人だかりができてしまう。自分がどういうものを撮っているか、どういうものを見ているか、周囲の人々に見え隠れする

チェンナイの卸し市場同様、コルカタはフレンドリーで親切な人にたくさん出会えた、そういう風。



コルカタを去る日の夜、スティー先の家族が駅まで見送りに来てくれた。夕方のコルカタ

はとても混んでいてハウラー駅に着くのに1時間ほどかかった。

毎朝毎晩に動き歩いたこの町と、今通り過ぎている夜のコルカタとはまた違う空気が流れていたのではないか?

インドの抱え持つ豊かさと貧しさがまじまと表面化し、共存する都市である。

何で夜のコルカタを歩かなかったのだろうか?

車の中で強く思い、そしてそう思った街通り過ぎながら、今日去らなければならないことを深く悔やんだ。

渋滞で進まぬスピードと車を降りれない今の自分が否応なしに絡んでいく。

いくつもの気持ちを残したまま、列車はコルカタから離れていった。

カテゴリ:

post by 坂本 晶子 | 日時: 2006.06.14 | [パーマリンク](#) | [コメント\(3\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[青の時間 \(TIME X BLUE\) > 2006年06月 アーカイブ](#)

## 威勢よき声、誰が声かな

撮影テーマは「マーケット」だったっけ?

そう思ってしまう程に、各國の都市で市場を訪れている。

花、野菜、果物、魚etc..さまざまな色とデザインと、それらが並べられている空間のバランスがとても好き。



ガーネット色のざくろ

食べたらほっぺたが落ちそうな気がする..

でも最近はそこで働く労働者にとても惹かれる。

とくにコルカタで気に入ってよく通ったのが野菜市場。  
野菜荷物の運び屋労働者にとても惹かれてしまい、ずっと追っかけてました。  
荷物はとても重いし、集中力がとてもいる作業なのに、こんな日本人に構ってくれて  
本当に感謝、感謝です。



カボチャの荷物は400kg、これを10人程で持ち上げ4人で運ぶ。  
頭に巻いている縦長なターバンで荷物を支え上げ、一気に持ち上げる。

「ターバンとタンクトップの色がとてもお似合いでですよ☆」

知人のインド人にベンガル語で話してもらうと、おじさんたちは一気に微笑んだ。

「お前もそんなちっちゃな体で、よくこんなとこ毎日毎日来るな」

私もちょっとそう思う。

でも、たくましい姿で自分の仕事を楽しんでる人はとても魅力的だし、そんな人たちの姿から私は多くのことを学ばせてもらっている。  
写真を撮り続ける行為は物理的にも、精神的にも、とても大変なことだけど、その一瞬のほどしばしの空間と瞬間を見せてくれている、与えてくれているのは、そこに生きる人々に他ならない。



青の時間〈TIME×BLUE〉> 2006年06月 アーカイブ

06.06.09

## オレンジワールド

コルカタ、ハウラー橋たもとの花市場。  
いわすと知れた有名地である。  
ちょうどマリーゴールドの季節にインドを訪れることができて幸いである。  
花屋（だけとは限らないが..）働くことはとても大変だが、好きなものに囲まれての  
商売というのが羨ましい。



マリーゴールド、1束60ルピー（2000円ほど）で売られる。





インドのチェンナイでも、コルカタでも花市場を訪れるたびに蓮を1輪もらっていた。  
部屋に戻り、蓮を見るたびに気持ちが落ち着く。  
蓮はとても穏やかな顔をしているのだ。

カテゴリ：

post by 坂本 晶子 | 日時: 2006.06.09 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) |  [トラックバック\(0\)](#)

[青の時間 \(TIME×BLUE\)](#) > 2006年06月 アーカイブ

06.06.08

## 【 チェンナイ×マーケット 】

飛行機に乗り込んでいく時点で、今までの顔ぶりとは違っていくことに胸がおどるし、  
さてこれからやっているか？と不安がよぎる。

印度、最初に降り立ったのはチェンナイ。  
チェンナイの卸し市場に行くと色鮮やかな空間と、あふれんばかりの人々のエネルギーが波のように動いていた。  
歩けば歩くほどに、その空間の魅力に取りつかれていく。



ジャックフルーツ屋のみなさん  
威勢のよい掛け声で次から次へと果物を売りさばいていきます！！  
毎朝市場を訪れるたび、市場の人々が手をふってくれる。





カテゴリ:

post by 坂本 晶子 | 日時: 2006.06.08 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[青の時間 \(TIME×BLUE\)](#) > 2006年06月 アーカイブ

06.06.01

## 【 インドに行くって 本当ですか?...】

あと少しでインドに旅立ちます。

あと8時間後くらいにはインドにいます。

寝むれないので、ジャスミンティーでも飲んでみます。

カテゴリ:

post by 坂本 晶子 | 日時: 2006.06.01 | [パーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

Copyright 2007 All rights reserved NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

powered by OLYMPUS